

防災フェーズ	名称：市立大洲病院 防災タイムライン『検査室』		(第1版 2019.12) 策定・更新：市立大洲病院災害対策チーム						
	策定目的：	当院の患者と職員の安全確保 および 施設の被災を最小限にして医療行為を継続するため	だれが		各部門に必要な固有で細分化された『各部門編タイムライン』は、本紙を雛形に各部門で策定する。				
	対象災害：	暴風、大雨、河川氾濫口	本部	事務課	全部門共通	検査室			
	被災想定：	建物への浸水、道路冠水などによる孤立	備考 ★災害対策本部が指揮命令 ●全部門にまたがる行動のとりまとめ部門 ○行動する部門						
	いつ (OR条件)	なにを (誰でもわかる明確な内容、同一フェーズ内は順不同)							
フェーズI	気象庁の警戒レベル2 ・大雨注意報 ・洪水注意報 ・高潮注意報 ・はん濫注意報	台風が集中豪雨 ・発生 ・接近予測の 72～48時間前	河川の状況 【はん濫注意水位(有堤)】 ・大洲第2水位観測所の水位 3.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する					
				情報	気象情報、ダム放流情報の確認 (以後、定期的に継続)	●			
				情報	近隣河川の水位を確認 (以後、定期的に継続)	●			
				関連部門					

フェーズII	気象庁の警戒レベル3 ・大雨警報 ・洪水警報 ・高潮注意報 (警報切替の可能性あり) ・はん濫警戒情報	台風が集中豪雨 ・道路上にあり ・接近予測の 48～24時間前	河川の状況 【はん濫危険水位(有堤)】 ・大洲第2水位観測所の水位 4.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する					
				情報	通行止め等の道路状況を確認 (以後、定期的に継続)	●			
				情報	大洲市危機管理課と情報共有 (以後、継続)	●			
				情報	他院と救急体制を確認 (被災した場合の連携など)	●			
				情報	停電時非常時の外部連絡先を再確認	●			
				モノ	防災備品の在庫確認	●		目的：職員の安全確保、施設の保全、医療機器の保全 (懐中電灯+電池、ヘルメット、ガムテープ、軍手、防水テープ、水密用ビニール袋 etc.)	
				関連部門					
				この行は使用せず、この上に新規行を追加する					

フェーズIII	災害発生への恐れ (台風・豪雨の接近が休日・深夜) があれば業務と並行して「仮設置」する		災害対策本部《仮》設置				《仮》災害対策本部は、1階事務課に設置		
	気象庁の警戒レベル4 ・土砂災害警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫危険情報	台風が集中豪雨 ・接近中 ・接近予測の 24～12時間前	河川の状況 【はん濫危険水位(有堤)】 ・大洲第2水位観測所の水位 5.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する					
				本部	防災タイムラインの再確認をする (役割・体制の把握)	★	●	○	○
				本部	被災予想時間が外来と重なる場合、外来診療の継続の有無を判断し告知する	★	●	○	○
				本部	時系列の記録 (クロノロジー) 開始 (ホワイトボードまたはPC,紙ノートでも可)	★	●		
				ヒト	災害対策本部《仮》設置時点の、医師を含む全職員の勤務調整(1) とりまとめ担当：事務課 (正式設置の際の準備として)	●	○	○	○
				モノ	ラジオ、防災無線など最低ラインの通信手段が使えるか確認 (電池も)	●			
				モノ	屋上、階段室の確認	●			
				モノ	全ての窓を施錠、カーテンやブラインドを閉める	●	○	○	○
				モノ	ベランダや窓の下に動かせるモノがあれば撤去	●	○	○	○
				モノ	屋外の備品撤去	●			
				モノ	非常用電源の作動確認	●	○	○	○
				モノ	充電できる機器は充電する (院内PHS,携帯電話も含む)	●	○	○	○
				モノ	PCと周辺機器のケーブルに、外しても戻せる目印をつけ、写真を撮る	●	○	○	○
				防水	「水囊」準備①ビニール袋②水囊マップ③分担	★	●	○	○
				関連部門	PHSの充電927および753				
			この行は使用せず、この上に新規行を追加する						

フェーズIV	災害レベルが上がる恐れがあれば、正式に設置する		災害対策本部《正式》設置				災害対策本部は、1階事務課から3階講堂に移動 本部用ホワイトボード準備		
	気象庁の警戒レベル5 ・高潮特別警報 ・大雨特別警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫発生情報	台風が集中豪雨 ・何らかの被災が 確実 ・接近予測の 12～6時間前	河川の状況 【はん濫危険水位(有堤)】 ・大洲第2水位観測所の水位 5.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する					
				本部	災害対策本部設置時点の、入院患者、職員数の把握を指示	★	●	○	○
				本部	防災タイムラインの再確認をする (役割・体制の把握)	★	●	○	○
				本部	ホワイトボードに時系列の記録 (クロノロジー) 開始 (以後、継続)	★	●		
				本部	被災予想時間が外来と重なる場合、外来診療の継続の有無を判断し告知する	★	●	○	○
				本部	「災害対策本部設置」を職員向けにメールで周知 (以後、必要に応じてメール送信)	★	●	○	○
				ヒト	医師を含む全職員の勤務調整(2) とりまとめ担当：事務課	★	●	○	○
				ヒト	必要に応じ、屋内託児への切替を検討 (職員の勤怠と連携)	★	○	○	○
				モノ	近隣丘陵地のフラワーパーク駐車場の使用許可を取り、敷地内駐車場の車を移動するアナウンスをする	★	●		
				防水	①水囊を作成 ②分担して水囊マップの位置に置く	★	●	○	○
				防水	1階の各部屋のコンセントを防水テープでシール	★	●	○	○
				防水	各装置の電源を切る		○	○	○
				防水	ケーブルに目印を付けたPCと周辺機器をデスク上へ退避	★	●	○	○
				防水	移動できない機器がある部門の防水対策		●	○	○
				防水	各部門の重要な医療機器を退避		○	○	○
防水	保存が義務付けられている書類 (輸血等) の移動		○	○	○				
防水	医薬用外劇毒物、感染性を有する検体、血液製剤の移動		○	○	○				
防水	試薬保冷庫の下段にある物品を移動		○	○	○				
			この行は使用せず、この上に新規行を追加する						

フェーズV	気象庁の警戒レベル5 ・高潮特別警報 ・大雨特別警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫発生情報	台風が集中豪雨 ・最も接近 ・久米川堤防の越水 ・肱川の堤防決壊	河川の状況 ・久米川堤防の越水 ・肱川の堤防決壊	この行は使用せず、この下に新規行を追加する					
				モノ	敷地内、建物内の被害状況の確認	★	●	○	○
				モノ	建物が孤立 または 帰宅困難者がいる場合：職員の休憩室 (待機室) の確保と周知	★	●		
				停電	自家発電の有無を確認、貯水タンクが使用できるか確認	★			
				停電	医療機器の電源確保の優先順位に従い、電力事情によって切り分ける内容を再確認 (以後、電力事情によって対応する)	★	●	○	○
				停電	【停電】または【停電に備え】エレベータ使用制限	★	●		
				断水	屋上貯水タンクの浄水を計画的に使用するため、節水の周知 (貼紙設置)	★	●		
				断水	トイレ用タンクの水を計画的に使用するため、トイレ使用制限 (貼紙やロープ設置) ※1階トイレと各階和式トイレは使用禁止	★	●		
				ヒト	医師を含む全職員の勤務調整(3) とりまとめ担当：事務課	★	●	○	○
				ヒト	常勤医師、非常勤医師の勤怠と移動手段の確認	★	●		
				ヒト	職員の安否確認 (全体または部門単位で)	★	●	○	○
	関連部門	入院患者、職員を含めて非常食の切替え	★						
情報	救急輪番病院の被害状況を確認	★	●						
			この行は使用せず、この上に新規行を追加する						